

開館記念展第1弾「見るまえに跳べ」 開催のお知らせ

拝啓 梅のつばみもふくらみかけてまいりました。平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、来る3月に東京都千代田区秋葉原にある旧練成中学校を改修し「3331 Arts Chiyoda」がオープンする運びとなりました。

施設の開館を記念致しまして、様々なアートプロジェクトを集積したプロジェクト・コレクティブ展、開館記念展第1弾「見るまえに跳べ」を開催致します。つきましては、3331 Arts Chiyoda初の企画展をより多くの方々に認知して頂きたく、記事にさせていただきますようお願いする次第です。何卒よろしくお願ひ申し上げます。 敬具

会期：2010年 3月14日（日）～ 4月11日（日）

開館時間：12：00 ～ 21：00（入場は閉館の30分前まで）

会場：3331 Arts Chiyoda 1 階 展示室

入場料：一般800円、高校・大学生500円 *中学生以下無料

主催：[社] 非営利芸術活動団体コマンドN 共催：3331 Arts Chiyoda

助成：芸術文化振興基金 認定：[社] 企業メセナ協議会認定

出品作家：日比野克彦（アーティスト）、藤浩志（美術家）、

八谷P& 中川基・萩野剛・鈴木ヒロシ（化学者／技術者／ Maker）、

ゼロダテ アートプロジェクト（秋田県大館市）、

アーティスト・イニシアティブ・コマンドN

王俊傑（アーティスト／台湾） *注1

*注1 / 王俊傑（ワン・ジュンジェ）氏は千代田区主催のアーティスト・イン・レジデンス事業における招聘作家です。この作品展示のみ入場無料。

【このプレスリリースに関する問い合わせ先】

3331 Arts Chiyoda 担当：友川、石山

〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14

TEL：03-6803-2441 FAX：03-6803-2442

E-MAIL：pr@3331.jp（プレス専用窓口） URL：http://www.3331.jp

開館記念展第1弾「見るまえに跳べ」

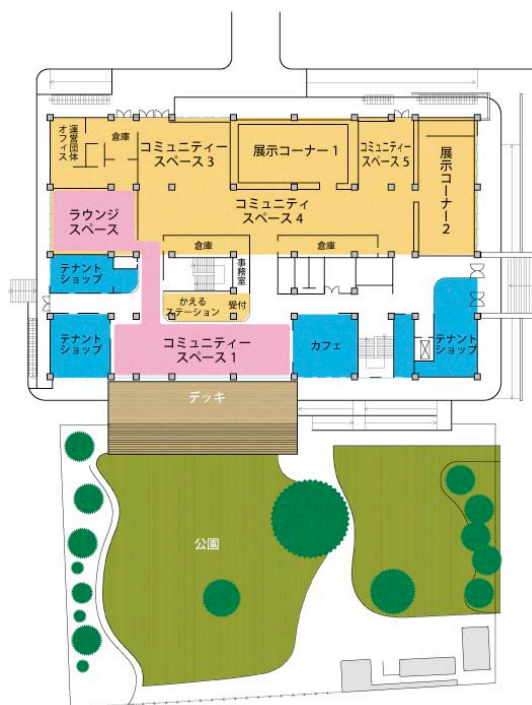
2010年3月14日（日）～4月11日（日）

【3331 Arts Chiyoda について】



3331 ARTS CYD

3331 Arts Chiyoda デザイン ASYL（佐藤直樹）



施設1階平面図

3331 Arts Chiyoda は、2010年3月にプレオープンを迎える、アーティスト主導、民設民営、領域横断のスタイルを旨とした「新しいアートの形をつくる」オルタナティブ・アートスペースです。

東京都千代田区秋葉原に位置し、東京と日本各地域、東京と東アジアをつなぐアートネットワークのハブとなります。

旧練成中学校の校舎を改修し、地上3階、地下1階、屋上スペースと、延べ床面積7,200平米を超える大型のアートセンターです。

前面に広がる練成公園と施設をつなぐ、横幅約24mのゆったりとしたウッドデッキと、施設の1階にある、美術館クラスの広さを持つ白壁の展示室が改修の特徴となっております。

この展示会場を使用した、開館記念展「見るまえに跳べ」は、プロジェクト型アートを牽引してきたアーティストらによる6つのアートプロジェクトをフォーカスする、プロジェクト・コレクティブ展です。

日比野克彦

HからAへ移動した時に起こること。

日比野克彦：アーティスト 1958年岐阜市生まれ



《2009年エジプトからサハラ砂漠を渡り、リビア国境近くへ》

朝顔はなぜ種をつけるのか？ひとはなぜ絵をかくのか？

明後日朝顔プロジェクトは種によって育まれてきました。種は移動しそこで種をつけ、また当たり前のよう
に移動して、行き着いた場所で また種をつける。

私は移動した先で 絵をかきます。随分遠くまで来たものだな、という所になればなるほど、その場所で
絵をかきます。

明後日朝顔の種を見ていると 移動した先で絵をかくことと 移動した先で種になることが 同じ方向を向
いているような気がするのです。

絵をかく時 種になる時 そこには似たもの同士の匂いがする。 日比野克彦

日比野克彦が行ってきている明後日朝顔プロジェクトと、彼が旅先で描いてきたスケッチとの関係を、3331
Arts Chiyoda にて展示し検証します。

藤浩志

VPC発Kaekko 経由Toys Paradise

藤浩志：美術家 1960年鹿児島県生まれ

家庭から排出される素材を利用し、活動を生み出す
仕組みとして表現されたのがVPC (Vinyl Plastics
Connection) です。そこからPoly Craft や Pet bottle
Works , Viny-pla-show、Kaekko 等の活動が生まれ
ました。特にいらなくなったおもちゃを使うKaekko
は全国数千箇所で行われ、地域に様々な活動を生
み出す一方、おもちゃの破片等を集める仕組みとし
て思わぬ展開をしています。これまでの活動の経緯
を紹介するとともに、集められた素材の魅力を展示
します。



《Toys Saurus(2009)》

八谷Pプロデュース

「エクストリームDIY」 by 中川基／荻野剛／鈴木ヒロシ

八谷和彦：メディアアーティスト／秋葉作ってみたラボ所長

1966年佐賀県生まれ

「秋葉原作ってみたラボ（所長：八谷P）」では、初回の展示として、中川基／荻野剛／鈴木ヒロシの3氏による展覧会「エクストリームDIY」展を開催します。3人はそれぞれ化学者、エンジニア、電子系学生であり、それぞれ自分のフィールドで興味深い「アイテム」を作っています。それは科学や技術を応用した作品というよりは、科学的リテラシーの伝達によって、私たちの生活に対する態度を変えてみようとする、ある種のゲームなのです。

（文責：八谷和彦）



《テスラコイルDRSSTC》

ゼロダテ アートプロジェクト（秋田県大館市）

「ゼロダテ ショッピングセンター」

ゼロダテ アートプロジェクトは今年で4年目を迎え、秋田と東京の2拠点で新しいコミュニティを生み出す市民芸術活動です。

「ゼロダテ ショッピングセンター」は、大館市の商店街からユニークな商品を集めて出張販売する移動型商店街プロジェクトです。さらに本展ではシャッター街化した中心市街地の再生を試みる「ゼロダテ」の原点である、2001年に惜しまれて閉店した老舗百貨店「正札竹村」の屋外看板（直径4m）も出品します。



《秋田県大館市大町商店街》

アーティスト・イニシアティブ・コマンドN Regional Code Asia ～ 右と言えば左02 ～

アーティスト・イニシアティブ・コマンドN：1998年に立ち上げられた、コンテンポラリーアートに関わるアーティストが企画・運営するアートプロジェクトを中心に活動する団体。



《Regional Code Asia/リチャード・ストレイトマター・チャン
～右と言えば左～ ドキュメントムービーより (2009) 》

コマンドNが運営する“プロジェクトスペースKANDADA”において、東南アジア地域のアートプロジェクトを紹介する企画展『Regional Code Asia/ リチャード・ストレイトマター・チャン ～右と言えば左～』が2009年に開催されました。本展では2009年に開催された同展の企画から、インド、シンガポール、タイ、ベトナム各国で行ったインタビュー映像の展示、各国のオルタナティブスペースの資料展示を行います。

王俊傑 (ワン・ジュンジェ)

台北コンテンポラリーアートセンター (東京支部) / 探険プロジェクト

王俊傑 (ワン・ジュンジェ) : メディアアーティスト、キュレーター 1963年台湾台北市生まれ

台湾最大の都市、台北にコンテンポラリーアートセンターを立ち上げるため、現在8名の有志が奔走しています。このコンテンポラリーアートセンターは、 маниフェストを掲げ、その маниフェストを展示することからスタートしたプロジェクトです。本展における展示では、3331 Arts Chiyoda と同時期に立ち上がる台北コンテンポラリーアートセンターの東京支部オフィスが出現します。王俊傑はこの設立メンバーの一員です。アーティストでありキュレーターでもある王の業績は、既に日本においても高い評価を得ています。



《台北コンテンポラリーアートセンターロゴマーク》

開館記念展第1弾「見るまえに跳べ」とは

開館記念展 第1弾「見るまえに跳べ」は、3331 Arts Chiyodaが育むコンセプトである「アートと地域を結ぶ」ことを目的とした6つのアートプロジェクトによる展覧会です。各プロジェクトの特徴は、独自の OS（オペレーションシステム）を生み出すことによって、地域社会における市民活動に対して新しい意識を誘発し、参加者による自主的な運営組織を作り出すことです。

「見るまえに跳べ Look if you like , but you will have to leap」という名称は、ノーベル文学賞作家、大江健三郎の代表作に由来します。小説のラストシーンに描かれている、主人公が「扉をひらいて外にでる」行動を「跳ぶ」瞬間であると捉え、本人でさえも意識しない日常の行動が、広い世界への関心と理解を生み出すきっかけとなる、ということから、この記念すべき開館記念展のタイトルとしました。本展のアートプロジェクトは、それぞれの地域で市民の方々と協同作業を育てています。こうしたアートプロジェクトに参加する市民が、活動の中で行う本人でさえも意識しない、日常の小さな行動のある瞬間が「跳ぶ」ことであり、アートなのではないでしょうか。プロジェクトは、こうした小さな行動の積み重ねから市民の内側に潜在する地域の力を可視化させます。アートプロジェクトは日常からアートを導き出し、地域コミュニティを向上させる環境を作り出す OS（＝創造活性装置）として位置づけられます。それは完成作品としての価値だけではなく、「アーティストを触発し、創作活動へと駆り立てる市民との協同活動」にアートの本質を見いだそうとするものです。こうしたアートプロジェクトは「モノ」として理解されがちなこれまでのアートから、「扉をひらいて世界へと踏み出す」アートへ向けての新たな試みなのです。見るまえに跳べ!

【プレオープン関連企画】

■東アジア地域リーダーシンポジウム企画 東京ビエンナーレ?: オルタナティブな国際展への挑戦!

東アジア各地のオルタナティブ・アートスペースより、地域やソーシャル・イシューに深く関わる活動を積極的に進めているリーダーを招き、テン年代（2010年代）のアートネットワーク構築や、各アートスペースをつなぐ相互協同活動の可能性、オルタナティブなアート国際展の可能性についてディスカッションします。

日時：2010年3月14日（日）14:00-17:30

会場：2階 体育館 参加費：500円 予約不要・逐次通訳あり

主催：[社] 非営利芸術活動団体コマンドN 支援：平成21年度文化庁芸術団体人材育成支援事業

助成：財団法人吉野石膏美術振興財団

<ゲストスピーカー>

シンガポール：ジェニファー・テオ / Post-Museum

台湾：王俊傑（ワン・ジュンジェ）/ Taipei Contemporary Art Center

韓国：柳承德（ユ・スンドク）/ Community Space Litmus

中国：姚嘉善（ヤオ・パオリーン）/ Arrow Factory

日本：中村政人 / 3331 Arts Chiyoda

■プレオープニング・ナイトパーティー「フラグメントシアター／断片化の解消」

3331 Arts Chiyoda プレオープニングイベント。「観る（観客）」＝「魅せる（作家）」の関係をキーワードに、ライブで行われる不特定多数のプロジェクトやパフォーマンスと来場者のアクションが、3331 Arts Chiyodaのビジョンを映し出していきます。

日時：2010年3月14日（日）18:30-21:30

会場：2階 体育館 参加費：無料 主催：3331 Arts Chiyoda

■「芸術特許」書籍刊行記念展

特許が芸術であると主張し、その発案取得から売却に至る全経緯を1冊にまとめたアーティストブック（500ページ、10,000円+税）の出版を記念した展示を行います。

日時：2010年3月14日（日）～4月11日（日）12:00-21:00（入場は閉場の30分前まで）

作家：中ザワヒデキ（美術家）

会場：2階 205 入場料：無料 主催：3331 Arts Chiyoda

協力：Gallery Cellar 制作協力：渡邊直子

▼関連イベント「デジタルネンド・デモ」

「芸術特許」関連のソフト「デジタルネンド」（アスク社、1996）を、当ソフトを開発した中ザワヒデキが実演説明します。

日時：2010年4月10日（土）19:00-21:00

会場：2階 205 *参加は書籍購入者に限らせていただきます。



■HEARTBEAT- PORTRAITS in Chiyoda

心臓の鼓動のイメージを記録的に描き出すHeart beat Drawing（ハートビート・ドローイング）による“HEARTBEAT- PORTRAITS（ハートビート・ポートレイツ）”は、ワークショップという手法を用いた、インタラクティブで体験的なプロジェクトです。多くの参加者を募り、参加者ひとりひとりの鼓動がリアルタイムに描かれていく、その鼓動のドローイングの集積は、壁を赤く彩り、名のある命のビジュアルを咲かせることでしよう。

▼HEARTBEAT- PORTRAITS in Chiyoda 展示

会期：2010年3月14日（日）～ 3月31日（水）12：00～21：00 入場料：無料

▼ワークショップ

日時：2010年3月13日（土）、14日（日）、20日（土）、21日（日）、22日（月・祝）、27日（土）、28日（日）

*時間の詳細は<http://www.3331.jp>にてご確認ください。

参加費：無料 申し込み方法：<http://www.3331.jp>にて3月5日より受付を開始します。

作家：HEARTBEAT-SASAKI（アーティスト）

会場：3階 壁面 / プロジェクトスペース 主催：千代田区 企画・制作：3331 Arts Chiyoda



■Inside out /Tokyo Project

東京と地域を結ぶアートプロジェクト。スタッフが各地域をリサーチした資料展示、国内地域のプレゼンテーションとディスカッション、交流パーティーを行います。

資料展示会期：2010年3月14日（日）～ 3月31日（水） 12：00～21：00（入場は閉館の30分前まで）

会場：1階 コミュニティスペース1 参加費：無料

主催：東京都、東京文化発信プロジェクト室（財団法人東京都歴史文化財団）、[社]非営利芸術活動団体コマンドN

協力：3331 Arts Chiyoda

<第1回招聘団体9地域>

北海道札幌市 Sapporo II Project / 小田井真美

青森県青森市 ARTizan 世話人・空間実験室/ 事務局長 日沼智之

秋田県大館市 ZAC（ゼロダテアートセンター）/ 松淵得雅

山形県最上郡大蔵村 「湯の里ひじおりー学校のある最後の1年」/

映画監督 渡辺智史・プロデューサー 飯塚俊男

宮城県塩竈市 ビルド・フルーガス / 代表 高田彩

富山県氷見市 アートNPO ヒミング / 高野織衣・平田哲朗

埼玉県北本市 キタミン・ラボ舎 / 代表 新井慶太

岡山県真庭市 勝山文化往来館ひしお / 副館長 高本敦基

福岡県福岡市 TRAVEL FRONT / オーガナイザー 野田恒雄

イベント開催日：2010年3月20日（土）交流パーティー：ゲスト/ 東京アートポイント計画ディレクター：森司

2010年3月21日（日）公開プレゼンテーション：ゲスト/ 文化庁 芸術文化調査官：野口玲一

2010年3月22日（月・祝）ラウンドテーブルディスカッション：ゲスト/ 慶応義塾大学理工学部教授：熊倉敬聡



Inside out /Tokyo Project関連イベント

▼Tokyo himming はじめまして‘とやま’です

自分たちの住む地域の魅力と向き合ってきたヒミングならではの新しい‘とやま’がここにあります。氷見の人から愛されている地元の海と山の味、スローなヒミングフードが集結。氷見市出身のミュージシャン青野りえによるミニライブも開催。

開催日時：2010年3月19日（金）19：00－22：00 会場：1階 コミュニティスペース1

ゲスト：青野りえ（ボーカル、作詞家） 入場料：3,000円（ドリンク、食事付き）

アートNPO ヒミング・3331 Arts Chiyoda 共同主催

▼「東京- 大館/ 二つの地域で住む生き方」講演会

鳳鳴会とは秋田県立大館鳳鳴高等学校の卒業生、教職員の同窓会。秋田県大館市出身で鳳鳴高校の卒業生を講師に迎えふるさとのことやゼロダテのことを熱く語っていただきます。

講師：麓幸子（日経WOMAN 編集長）中村政人（東京藝術大学 准教授）

開催日時：2010年3月20日（土）14：30－16：30

入場料：無料 東京鳳鳴会・3331 Arts Chiyoda 共同主催協力：ゼロダテ アートセンター 東京

問い合わせ：zactokyo@zero-date.com

■POCORART（ポコラート）

～障害を持つ人とつくるアートプロジェクト～

POCORART（ポコラート）は「Place of Core + Reration Art」による造語で、アートをきっかけとして、障害を持つ人もそうでない人もそれぞれの言葉で直接対話し、内在する力の相互作用によってアートを生み出す場をつくる活動名です。今回は、視覚障害を持つ美術家 光島貴之と現代美術作家 船井美佐による作品展示をします。期間中には展示作家によるワークショップと、障害を持つ方のための施設案内と展覧会見学ツアーも行います。 <http://pocorart.com-manda.info/>

主催：千代田区 企画・制作：3331 Arts Chiyoda

▼光島貴之× 船井美佐 作品展～ image - 視覚と触覚の交差点

会期：2010年3月14日（日）～ 3月31日（水） 12：00－21：00（入場は閉場の30分前まで）入場料：無料

▼3331 Arts Chiyoda 観覧ツアー

日時：2010年3月21日（日）12：30－14：00

対象：障害のある方を含む20名（介助者が必要な方は介助者の方もご参加いただけます）

参加費：無料 参加申し込み方法：<http://www.3331.jp>にて3月5日より受付を開始します。

▼ワークショップ& アーティストトーク

視覚に障害を持つ方を含めた3名でチームを作り、ワークショップを行います。

日時：2010年3月28日（日）10：00－15：00（14：30よりアーティストトーク）

講師：光島貴之（美術作家）、船井美佐（現代美術作家）

参加対象：視覚に障害を持つ方を含む30名 参加費：無料

参加申し込み方法：<http://www.3331.jp>にて3月5日より受付を開始します。

会場：地階 B105

■千代田区秋葉原地域における全国芸術系学生交流拠点形成事業

学生メディアセンター 「なないろチャンネル」

全国芸術系学生の様々なアイデアをリアルタイムで発信する放送局です。「なないろチャンネル」は次世代を担う学生達の多彩なアイデアを秋葉原駅のガード下から全国へ向けて発信します。

▼「なないろチャンネル」 WEB 放送

会期：2010年3月7日（日）～ 3月28日（日） <http://nanachan.tv/> にて放送予定

放送局：ラジオセンター401（JR 秋葉原駅電気街口徒歩1分） 出演者：全国芸術系学生

▼「なないろチャンネル」開局記念展劇的!! インストール

会期：2010年3月14日（日）～ 3月28日（日） 12:00-21:00

会場：2階 203 入場料：無料 主催：東京都、東京文化発信プロジェクト室（財団法人東京都歴史文化財団）、東京藝術大学 協力：3331 Arts Chiyoda

企画：東京藝術大学大学院 美術研究科 壁画第一 中村政人研究室

制作：学生メディアセンター なないろチャンネル

*本事業は、東京文化発信プロジェクトにおける「学生とアーティストによるアート交流プログラム」の一環として実施されます。

■「どこか辺りで-somewhere around-」ダンスワークショップと公演

日本のコンテンポラリーダンスをリードし続けるダンスカンパニーノマド~s が、ダンスワークショップと公演を行います。ノマド~s はダンスの枠にとらわれない自在な空間演出を特徴とし、国内外から高い評価を受けています。

テキスト・演出・振付：池宮中夫 振付：熊谷乃理子

▼ダンスワークショップ

2010年3月27日（土） a 10:00-11:30 / b 12:30-14:00

2010年3月28日（日） c 10:00-11:30 / d 12:30-14:00

参加費：1クラス一般1,800円/高校生以下900円

* 千代田区民割引、複数クラス参加割引あり。詳細はお問い合わせください。

* ワークショップ参加の方は、3月28日（日）の公演に出演することができます。

会場：1階 コミュニティスペース1

主催：3331 Arts Chiyoda 企画：Dance Company Nomade~s 助成：EU・ジャパンフェスト日本委員会

問い合わせ・申し込み：Dance Company Nomade~s

〒113-0022 東京都文京区千駄木5-15-7 TEL 03-3828-4858 FAX: 03-3828-4856

E-MAIL: nomade-s@t3.rim.or.jp WEB <http://www.nomade-s.com> BLOG <http://blog.goo.ne.jp/nomade-s>

▼ダンス公演

日時：2010年3月28日（日）15:00-16:30（公演+アフタートーク） *開場は14:45-

出演：羽山義彦、岩崎一恵、倉股祐美、木村真理子、他 ワークショップ参加者/熊谷乃理子、池宮中夫

入場料：無料 *会場の都合上、なるべくご予約ください。

会場：1階 コミュニティスペース1 主催：千代田区 企画：3331 Arts Chiyoda、Dance Company Nomade~s

申し込み方法：<http://www.3331.jp> にて3月5日（金）より受付を開始します。

開館記念展 第2弾 佐々木耕成展「全肯定/OK.PERFECT.YES.」

- 日時：2010年4月23日（金）～5月23日（日）（予定）
- 会場：アーツ千代田 3331 / 1階展示エリア
- 企画・主催：[社] 非営利芸術活動団体コマンドN 共催：3331 Arts Chiyoda
- 助成：芸術文化振興基金（申請中）会場：3331 Arts Chiyoda

<佐々木耕成について>



本年度で81歳である佐々木耕成は、1960年代の日本前衛芸術の最前線で活躍し、ニューヨークにおいては20年もの長期にわたり活動を行ってきました。しかし、1987年の帰国後は美術界との関係を一切絶ち、自らの手でアトリエを建て制作を続けてきました。自らと向かい合い思想を巡らす佐々木の世界観は哲学にも通じる、アートの既存価値を凌駕したものです。本展はアーティストでありながら思想家ともいえる、佐々木による実に40年ぶりとなる絵画展です。